

## 参1.2 降雨量と流量の関係

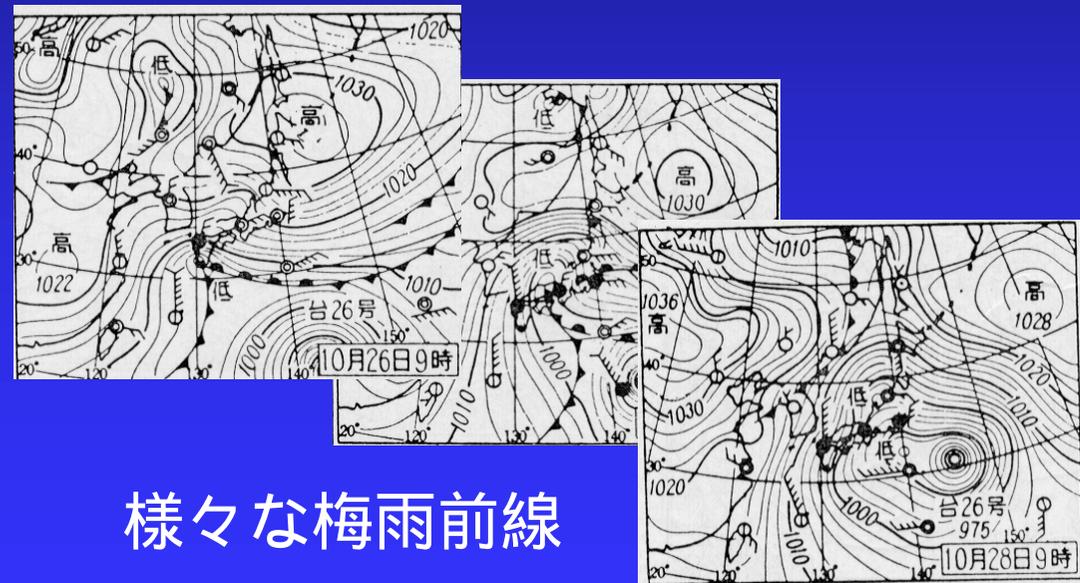
### 参1.2.2 台風・梅雨前線等の降雨特性と

### 流域平均雨量の関係

- 木津川流域：台風性降雨が多い
- 桂川流域：前線性降雨が多い
- 琵琶湖流域：南部は雨と台風を中心とした夏期降雨が多く、北部は冬期の降雪がある
- 枚方上流域：木津川流域に起因する台風性降雨が多い



台風経路図



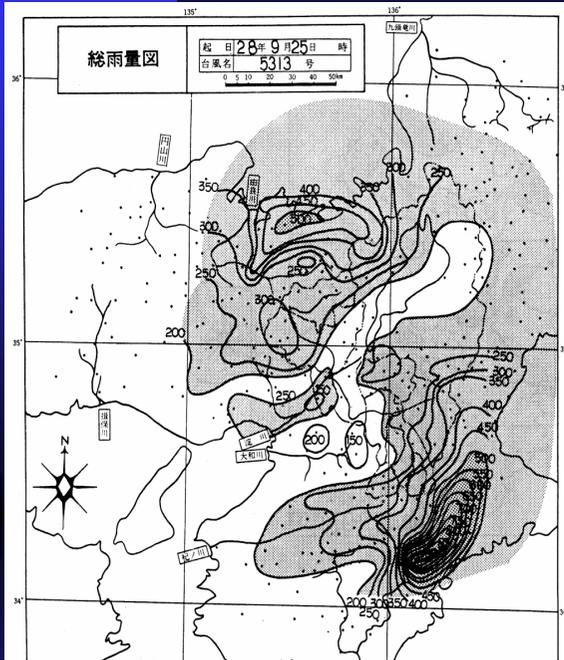
様々な梅雨前線

台風の経路や前線の分布によって淀川流域内の各所での雨の降り方が違ってくる

# 参1.2.2 台風・梅雨前線等の降雨特性と

# 流域平均雨量の関係

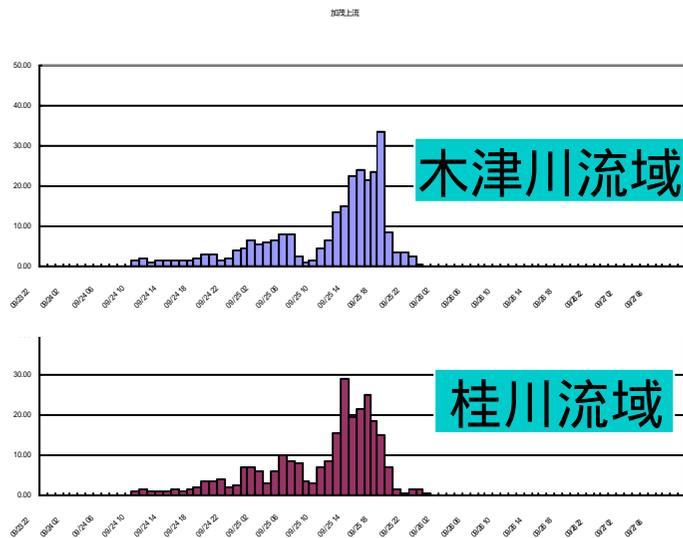
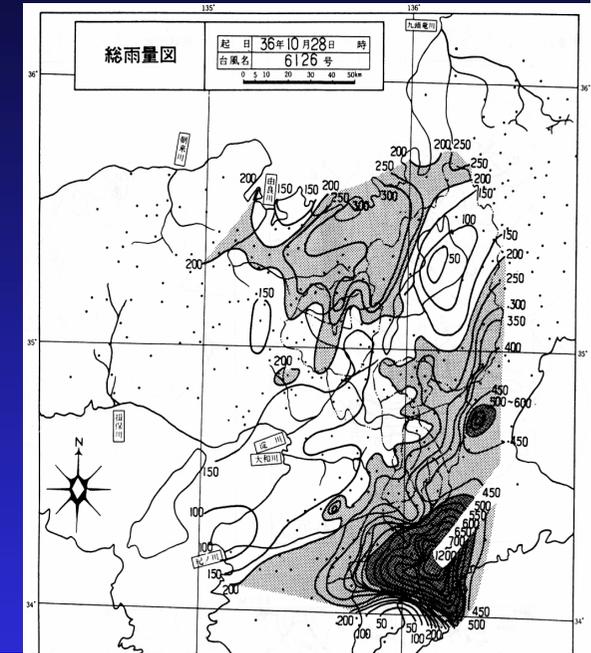
## ■ 雨の降り方の違いの具体例



## 総雨量の等雨量線図

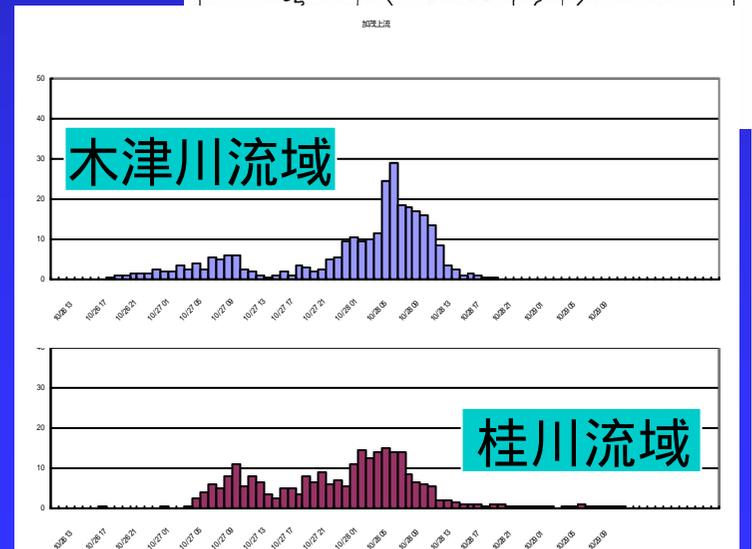
S28.9台風

S36.10前線



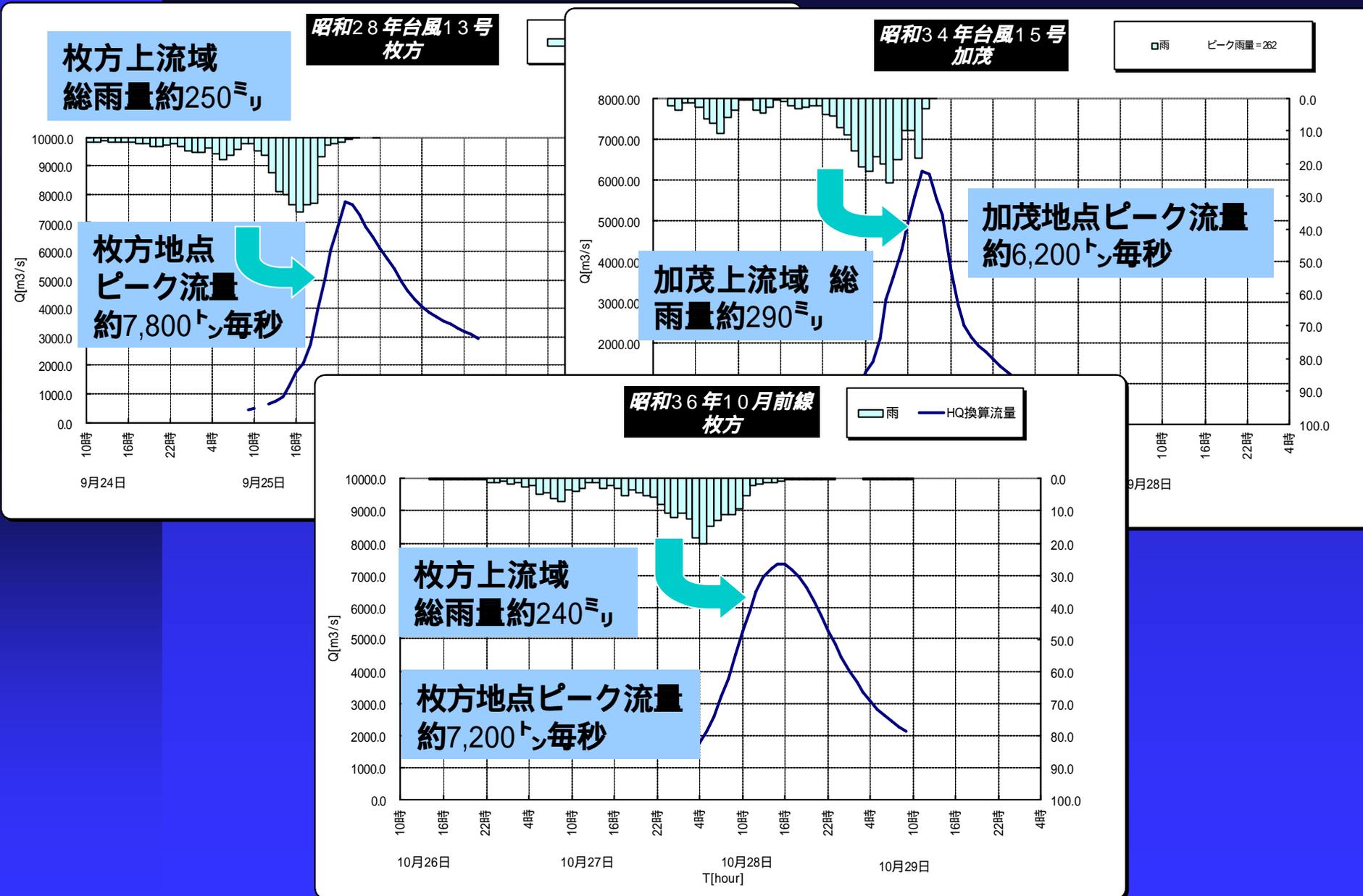
各地域の  
時間雨量】

同じ雨でも  
地域ごとに  
違う



# 参1.2.3 流域平均雨量と地点別流量の関係

## ■ 地点ごとと雨ごとに川の流量は違う

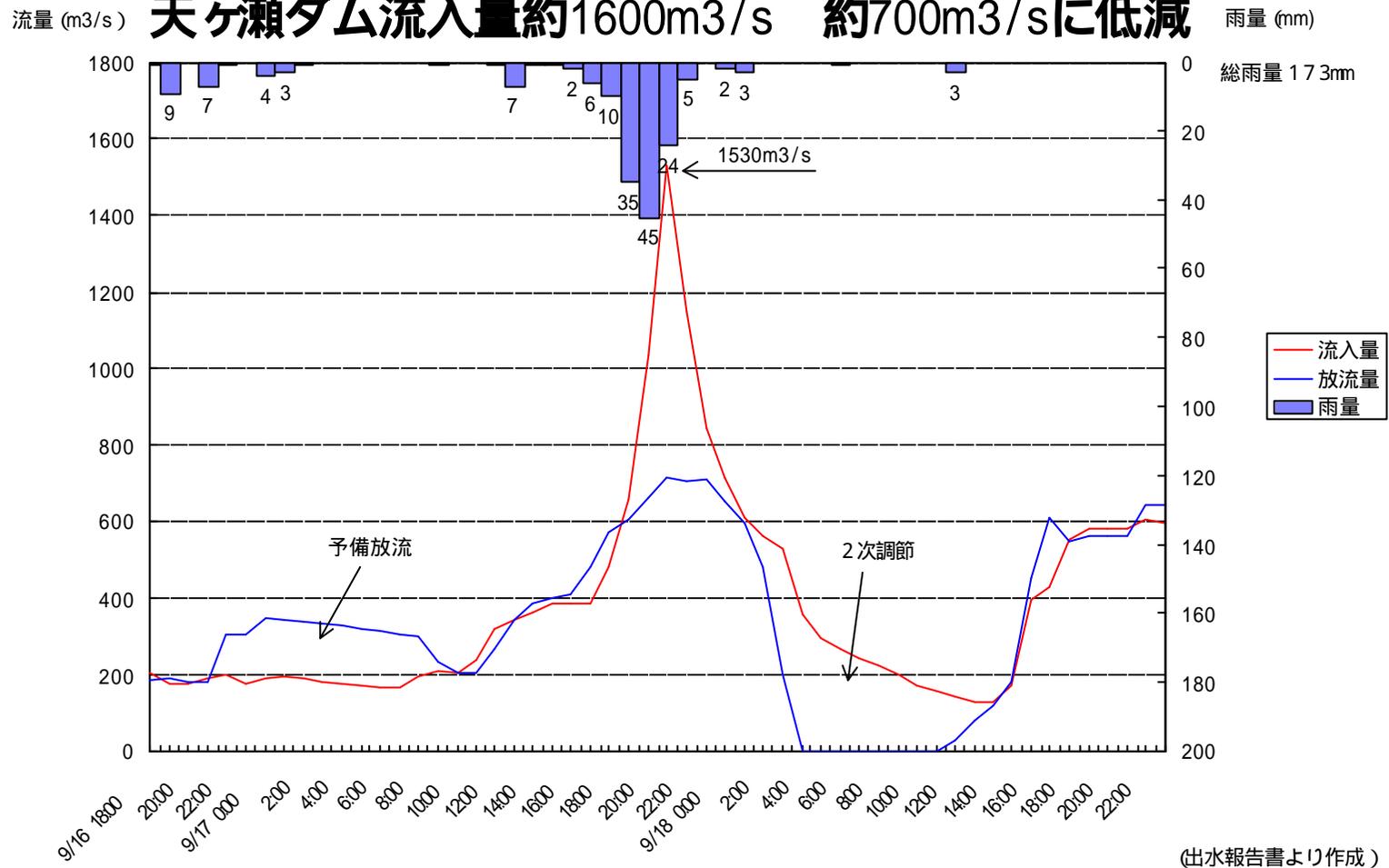


# 参1.2 降雨量と流量の関係

## 参1.2.4 ダム等の最大効果量

### 昭和40年9月洪水の洪水調節図

天ヶ瀬ダム流入量約1600m<sup>3</sup>/s 約700m<sup>3</sup>/sに低減



# 参1.3 洪水別被害状況 (明治18年～昭和35年)

西暦	発生年月日	要因	水文状況 (枚方)			被害状況 4
			1 2日雨量 (mm)	2 最高水位 (m)	3 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	
1885年	明治18年6月25日 ～7月1日	台風	木津川 総雨量365	6.51	(4,280)	死者 (不明含) 100人、負傷者21人 全壊流失1,635戸、半壊流失15,705戸 床上浸水・床下浸水75,678戸
1896年	明治29年9月6日 ～11日	台風	宇治川・琵琶湖 総雨量569	6.48	(4,240)	死者 (不明含) 84人、負傷者79人 全壊流失3,000戸、半壊流失6,136戸 床上浸水35,627戸、床下浸水22,764戸
1919年	大正6年9月28日 ～30日	台風	総雨量221	5.68	(4,620)	死者 (不明含) 52人、負傷者25人 全壊流失718戸、半壊流失461戸 床上浸水23,005戸、床下浸水20,755戸
1938年	昭和13年7月1日 ～5日 (阪神水害)	梅雨 前線	総雨量199	4.98	4,000	死者 (不明含) 8人、負傷者1人、 全壊流失184戸、半壊流失94戸 床上浸水・床下浸水8,408戸
1953年	昭和28年8月14日 ～15日	前線	118	4.19	3,000	死者 (不明含) 86人、負傷者338人 全壊流失610戸、半壊流失628戸 床上・床下浸水17,567戸
1953年	昭和28年9月24日 ～25日	台風 13号	249	6.97	(7,800)	死者 (不明含) 178人、負傷者194人 全壊流失・半壊676戸 床上・床下浸水56,194戸
1956年	昭和31年9月25日 ～27日	台風 15号	161	5.49	5,025	大阪府、兵庫県 (26日14時) 死者1人、 床上浸水17戸、床下浸水666戸
1958年	昭和33年8月23日 ～25日	台風 17号	164	5.07	3,990	大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県(26日15時) 死者 (不明含) 5人、負傷者8人、全壊流失7戸 半壊29戸、床上浸水206戸、床下浸水1,359戸
1959年	昭和34年8月11日 ～13日	前線 及び 台風	272	6.50	6,800	死者 (不明含) 23人、負傷者29人 全壊流失152戸、半壊流失115戸 床上浸水7,949戸、床下浸水44,103戸
1959年	昭和34年9月25日 ～26日 (伊勢湾台風)	台風 15号	215	6.69	7,970	死者 (不明含) 47人、負傷者353人 全壊流失586戸、半壊流失1,312戸 床上浸水9,927戸、床下浸水27,632戸
1960年	昭和35年8月28日 ～29日	台風 16号	157	4.70	3,775	死者 (不明含) 5人、負傷者113人、 全壊流失153戸、半壊流失2,099戸 床上浸水7,353戸、床下浸水30,037戸

# 参1.3 洪水別被害状況 (昭和36年～平成6年)

西暦	発生年月日	要因	水文状況 (枚方)			被害状況 4
			1 2日雨量 (mm)	2 最高水位 (m)	3 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	
1961年	昭和36年9月14日 ～ 16日 (第2室戸台風)	台風 18号	大阪府生駒 総雨量108	2.95	1,488	死者 (不明含) 28人、負傷者1,627人 全壊流失2,153戸、半壊流失26,285戸 床上浸水56,071戸、床下浸水47,655戸
1961年	昭和36年10月26日 ～ 28日	台風 26号	234	6.95	7,206	死者 (不明含) 2人、負傷者4人 全壊流失5戸 床上浸水520戸、床下浸水2,209戸
1965年	昭和40年9月16日 ～ 18日	台風 24号	203	6.75	6,868	死者 (不明含) 4人、負傷者106人 全壊流失248戸、半壊流失4,540戸 床上浸水12,238戸、床下浸水58,501戸
1967年	昭和42年7月6日 ～ 9日 (昭和42年7月豪雨)	低 気圧	118	4.26	3,077	死者 (不明含) 20人、負傷者2人 全壊流失・半壊流失14,022戸 床上浸水72,927戸、床下浸水90,805戸
1972年	昭和47年7月9日 ～ 15日	梅雨 前線	145	4.00	4,251	死者 (不明含) 2人、負傷者8人 全壊流失2戸、半壊流失17戸 床上浸水139戸、床下浸水3,531戸
1972年	昭和47年9月13日 ～ 17日	台風 20号	169	4.63	5,228	死者 (不明含) 3人、負傷者12人 全壊流失34戸、半壊流失281戸 床上浸水9,583戸、床下浸水60,984戸
1975年	昭和50年8月21日 ～ 23日	台風 6号	103	2.29	2,774	負傷者4人 全壊流失・半壊流失129戸 床上浸水2戸、床下浸水101戸
1982年	昭和57年7月31日 ～ 8月4日	台風 10号	231	4.65	6,271	死者 (不明含) 10人、負傷者12人 全壊流失24戸、半壊流失34戸 床上浸水5,573戸、床下浸水5,084戸
1989年	平成1年8月30日 ～ 9月6日	台風 12号	133	1.77	3,599	大阪府 (3日18時) 死者1人、負傷者1人 床上浸水29戸、床下浸水1,928戸
1990年	平成2年9月14日 ～ 20日	台風 19号	144	2.00	3,949	滋賀県内 床下浸水350戸
1994年	平成6年9月26日 ～ 29日	台風 26号	109	0.24	2,753	2府4県 (30日午前) 軽傷5人、全壊流失・半壊流失11戸 床上浸水・床下浸水112戸